備前市事務事業評価シート

（平成21年度事業）

事業の概要

事業開始年度			平成15年度	根拠法令・例規等	サイクリングターミナル設置条例
総合計画	大項目	基本目標	05 住民主体の協働のまちづくり	問合先 担当課（室）	まちづくり推進課
	中項目	基本施策	01 住民主体で進めるまちづくり	職・氏名	協働推進係長　竹林　幸作
	小項目	施策	03 ボランティア・NPO	電話	0869-64-1806
事務事業名			01 サイクリングターミナル管理運営事業	このシート作成に要した時間	4.0 時間

事業の目的

対象（誰・何に対して）	サイクリング愛好者、ボランティア活動に関心のある方
目的（何のために）	レンタサイクルの貸出などにより市民の健康の増進及び市民相互のふれあいを促進する。また、ボランティア活動に対しても施設を開放している。
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	市内外からの利用者に対して、健康増進を図りながら東備地域の恵まれた自然を知っていただく。

事業の実績

目的を達成するため実施した事業

細事業名	事業の説明	優先度
ｻｲｸﾘﾝｸﾞﾀｰﾐﾅﾙ管理運営事業	レンタサイクル、会議室等の貸出。 自転車貸出　20台 会議室使用　会議室、交流室ほか	◎

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額 事業費	直接事業費	千円	4,766	2,764	1,576
	必要人員　人件費	千円	0.04人　318	0.07人　603	0.07人　685
	事業費計	千円	5,084	3,367	2,261
財源	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円			
	繰入金	千円			
	市債	千円			
	その他（　）	千円			
	一般財源	千円	5,084	3,367	2,261
受益者負担比率		%	－	－	－

結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
利用人数		説明	レンタサイクル、会議室等の利用人数。		
結果指標	結果指標量	事業	6,837	7,230	7,055
	対前年比	%	－	105.7%	97.6%
	活動コスト	円	5,084,000	3,367,000	2,261,000
	単位当たりコスト	円	744	466	320

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい

事業の成果

成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
施設の利用人数	目標値（A）	6,000	6,000	6,000	7,000
	実績値（B）	6,837	7,230	7,055	到達目標値
	達成率（B/A）	113.95%	120.50%	117.58%	7,000

成果指標設定の考え方・式や説明

レンタサイクル、会議室等の利用人数の増加により施設の有効利用を図る。

事務事業の評価

妥当性の評価

市の関与の妥当性・必要性
- ☐ 市が実施するよう法令で義務づけられている
- ☐ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
- ☐ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
- ☐ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- ☐ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- ☑ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
- ☐ 事業開始当初の目的から変化してきている
- ☐ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている

市民ニーズ
- ☐ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある
- ☐ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価 <A～E>：**C**

効率性の評価

コスト手段
- ☑ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
- ☐ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
- ☐ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
- ☑ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- ☐ 受益者負担率は適正である
- ☐ 受益者負担率を見直す余地がある
- ☐ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
- ☐ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
- ☐ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価 <A～E>：**C**

有効性の評価

目的達成度
- ☐ 成果指標の設定は適切である
- ☐ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
- ☐ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
- ☐ 成果指標達成率は80%未満となっている
- ☐ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない

市民参画度
- ☐ 法定事務　・　内部管理事務　であり成果は求めにくい
- ☑ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
- ☐ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価 <A～E>：**C**

進行年度（H22年度）の改革改善内容

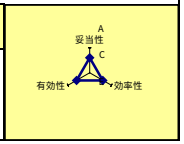
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

説明：引き続きレンタサイクルの貸出しを実施、利用者の安全な運行に心掛ける。
平成21年度にボランティア支援センターは廃止するも、ボランティアの活動に開放していく。

総合評価

施設の認知度が低く、幅広く有効活用できていない。片鉄ロマン街道の利用を促進するため県及び近隣団体との連携を強化していく。

評価区分 <A～E>：**C**



平成23年度の方向性 及び 取組目標

方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

取組目標：平成21年度から指定管理者制度から市の直営として経費節減に努めている。今後は、幅広く施設の有効な利用を検討していく。